



☆☆親子で遊ぼう ☆☆

ちよっと早めのクリスマス

親子でクリスマスリースを作りました

- 日時／12月20日(金)午前10時～正午
- 場所／外前野記念会館ハーモニー 2階
- 費用／無料
- 対象／就学前のお子さんと保護者の方
- 定員／25組(申込み順)
- 主催／松伏町民生委員・児童委員協議会(児童育み部会)
- 申込み／12月6日(金)から福祉健康課(☎991-1874)へ。



「民生委員・児童委員はいつもあなたのそばにいます」

人権 それは 愛

問合せ／教育文化振興課 ☎990-9011
企画財政課 ☎991-1815

「皆さんは同和問題について正しく理解しているでしょうか？」

日本では、歴史上人為的に作られてきた身分制度によって、住居や職業、結婚などを制限させられる差別を受けてきた人々があります。特定の地域の出身であることを理由に差別される我が国固有の人権問題を同和問題といいます。

今日の社会では、差別が見えにくいものとなってきており、表面的には同和問題は解決に向かっていくようにも見えます。そのため同和問題をいまさら取り上げる必要はなく、そっとそのまま放置しておけば時間の経過とともに自然に解消する、「寝た子を起こすな」というような消極的な考え方があります。

"寝た子"とは「知らない人」、"起こす"とは「教える」ということで、「知らない人にわざわざ教えることはない。そっとしておけば解決する」という考え方です。

「寝た子を起こすな」という考え方では、同和問題の解消につながらないばかりか、差別に気付くことなく、かえって差別を拡大する結果を招くことにもなります。

差別のない人権が尊重される社会をめざすには、私たち一人ひとりが学校や職場、地域社会の中で学習や研修を通じ、同和問題を正しく理解し行動に移していくことが大切ではないでしょうか。

12月4日から10日までは「人権尊重社会をめざす県民運動強調週間」です。

国では、世界人権宣言が国際連合総会で採択された1948年12月10日を記念して、毎年12月4日から10日までを人権週間と定めています。